

スタートアップガイド for Android



改版履歴

版	ページNo.	改版内容	改版日
1		制定	2013/10/4
2	全般	機能改良に伴う画像の変更	2014/10/29
2	全般	機能改良に伴う語句変更	2014/10/29
3	22-23	「メールアカウント」と「通知先メールアドレス」についてを削除	2014/11/27
3	11	端末に設定するメールアカウントの記述を削除	2014/11/27
3	17,18,22	端末登録手順変更・追加	2014/11/27
3	26	「URLをその他の方法で通知する」を追加	2014/11/27
3	28-32,34	端末へのインストール・登録手順変更	2014/11/27
3	全般	機能改良に伴う画像の変更	2014/11/27
3	7	iOS対応バージョン追記	2014/11/27
4	7	iOS対応バージョン追記	2015/1/29
5	7	iOS対応バージョン追記	2015/2/17
6	7	Android・iOS対応バージョン追記	2015/3/26
6	7	マルチユーザーへの対応状況について追記	2015/3/26
7	8	Android対応バージョン追記	2015/4/30
7	全般	機能改良に伴う画像の変更	2015/4/30
7	12	Android5.0以上でのバッテリーセーバーモードに関する注意事項を追記	2015/4/30
7	36-37	「使用履歴にアクセスできるアプリに登録」の設定についてを追加	2015/4/30
7	41	よくあるご質問（FAQ）リンクを追記	2015/4/30
8	8	iOS対応バージョン追記	2015/7/22
9	全般	機能改良に伴う画像と語句の変更	2015/9/30
9	8	対応ブラウザからGoogle Chromeを削除	2015/9/30
9	8	iOS対応バージョン追記	2015/9/30

版	ページNo.	改版内容	改版日
10	全般	機能改良に伴う画像変更	2016/3/24
10	8	管理コンソールを閲覧する際のOSを追記	2016/3/24
10	33,44,46	Android 6.0以上における設定手順を追記	2016/3/24
10	35	URLをその他の方法で通知した場合のインストール手順を追加	2016/3/24
11	8	動作環境の補足事項を追記	2016/7/27
11	11	「端末管理に必要なプログラムについて」を追加	2016/7/27
11	14-15	設定項目を3件・注意事項を1件追記	2016/7/27
11	41	対処方法を1件追記	2016/7/27
11	全般	文言調整	2016/7/27
12	全般	機能改良に伴う画像や文言の変更	2016/9/27
13	全般	マルチユーザー制御機能追加に伴う画像や文言の変更	2016/12/21
14	22	文言変更に伴う画像の変更	2016/12/27
15	8	対応ブラウザからFirefoxを削除	2017/3/1
16	全般	Android 7.0対応に伴い、文言・設定手順を追記	2017/4/27
17	全般	Android 8.0対応に伴い、文言・設定手順を追記	2017/10/3
18	42,63	アプリのダウンロードが開始されない場合の注意事項を追記	2018/3/19
19	36-52	端末へのインストール・登録手順の変更	2018/5/25
19	62	「電池の最適化 例外設定」を有効にする手順の変更	2018/5/25

目次

announce

1. 納品物 (p.5)
2. 動作環境 (p.7)
3. 利用開始までの流れ (p.9)
4. 端末管理に必要なプログラムについて (p.11)

guide

1. 端末の準備をする (p.13)
2. 管理コンソールにログインする (p.16)
3. 端末情報を登録する (p.20)
 - 3-1 登録前に確認する (p.21)
 - 3-2 1台ずつ登録する (p.23)
 - 3-3 一括で登録する (p.25)
4. ユーザーに端末登録URLを通知する (p.29)
 - 4-1 端末登録URLをメールで通知する (p.30)
 - 4-2 端末登録URLをその他の方法で通知する (p.32)
5. 端末にインストールする (p.34)
 - 5-1 端末にインストールする（端末登録URLをメールで通知した場合） (p.35)
 - 5-2 端末にインストールする（端末登録URLをその他の方法で通知した場合） (p.44)
 - 5-3 「デバイス管理者（機器管理者）」の設定について (p.53)
 - 5-4 「使用履歴にアクセスできるアプリ」の設定について (p.55)
 - 5-5 「ユーザー補助」の設定について (p.57)
 - 5-6 「アクセス設定」について (p.59)
 - 5-7 「電池の最適化 例外設定」について (p.62)
 - 5-8 インストール時、警告ダイアログが表示された時の対処方法 (p.64)
 - 5-9 インストールに失敗した時の対処方法 (p.65)
6. インストール後に確認する (p.68)

お問い合わせ先 (p.70)

納品物

1-1 納品物一覧

announce

1

■ 納品物一覧

LanScope Anは、メールにて納品いたします。
納品メールに記載している情報は、以下のとおりです。

- 納品メール
 - ・ ご契約情報
 - ・ 利用規約
 - ・ お問い合わせ窓口
 - ・ 管理コンソールへアクセスするURL
 - ・ 管理コンソールにログインするアカウントとパスワード

動作環境

2-1 動作環境

announce

2

■ 管理者PC

- 対応ブラウザ
 - ・ Internet Explorer

※ブラウザは、Silverlight5のプラグインが動作するバージョンをご利用ください。
※管理コンソールはWindows端末から確認してください。

- 画像解像度
 - ・ 1024×768以上
- 通信環境
 - ・ インターネットに接続できる環境
 - ・ 下記ポートを開放してください。
HTTPS通信 (port : 443)

■ 管理する端末

- 通信環境
 - ・ インターネットに接続できる環境
 - ・ 下記ポートを開放してください。
GCM (Google Cloud Messaging for Android) による通信 (port : 5228, 5229, 5230)
- 対応OS

最新の動作環境は、管理コンソール「ヘルプ」から「動作環境」を参照してください。
- その他
 - ・ Webサイト閲覧ログの取得はAndroid 6.0未満の端末で対応しています。
 - ・ 必須アプリ未稼働アラート、アンインストール防止設定はAndroid 7.0未満の端末で対応しています。
 - ・ プロキシサーバーを経由するネットワーク環境での動作確認は行っていません。
プロキシサーバー経由での運用を開始する前に、お客様環境での動作確認を行ってください。
 - ・ LanScope An Client は、Android端末のメインユーザーにインストールしてください。
LanScope An Client をインストールしたユーザーと異なるユーザーでAndroid端末を使用した場合や、複数のユーザーに LanScope An Client をインストールした場合、正常に端末管理ができなくなります。

利用開始までの流れ

3-1 利用開始までの流れ

announce

3

利用開始までの流れ

1. 端末の準備をする

メールアカウント
などの設定



2. 管理コンソールにログインする

管理コンソールに
ログイン・登録

3. 端末情報を登録する



4. 端末登録URLを通知する

インストール・登録

5. 端末にLanScope An Clientを
インストール・登録する



端末管理に必要なプログラム について

4-1 端末管理に必要なプログラムについて

announce

4

管理対象のAndroid端末に必要なプログラムを説明します。

■ LanScope An Client（必須）



端末をLanScope Anに登録するために必要です。
LanScope An Clientをインストールすることで、LanScope Anのすべての機能を利用できます。

※一部、OSバージョンにより機能差があります。詳細は「動作環境」（p.7）を参照してください。

端末の準備をする

導入をスムーズに行うために、端末側での設定を行います。

1-1 端末の準備をする

guide

1

端末の準備をする

1-1

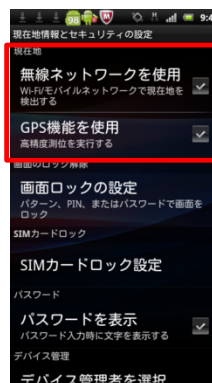
① 「現在地情報とセキュリティ」を設定します。

※設定が正しく行われていない場合、位置情報の取得はできません。

※機種によって設定画面は異なります。

■Android 4.4未満の場合

1. 端末の「設定」メニューをタップします。
2. 「現在地情報とセキュリティ」もしくは「位置情報サービス」をタップします。
3. 「無線ネットワークを使用」もしくは「Googleの位置情報サービス」にチェックが入っているかを確認します。チェックが入っていない場合は、チェックを入れて有効にします。
4. 「GPS機能を使用」もしくは「GPS機能」にチェックが入っているかを確認します。チェックが入っていない場合は、チェックを入れて有効にします。



■Android 4.4以上の場合

1. 端末の「設定」メニューをタップします。
2. 「位置情報」をタップします。
3. 「位置情報」がONになっているか確認します。OFFになっている場合はスイッチを使ってONにします。
4. 「モード」をタップします。
5. 位置情報モード選択画面が表示されるので「高精度」を選択します。



② Google Play ストアがインストールされているかを確認します。

※リモートロック・ワイプ機能を利用する場合

③ Googleアカウントが端末に設定されているかを確認します。

※Android 4.0.4未満の端末に対してリモートロック・ワイプ機能を利用する場合

④ 今までに英数字のパスワードを設定したことがなければ、手動で設定します。

※Android 3.x~4.xの端末に対してリモートロック・ワイプ機能を利用する場合

⑤ バッテリーセーバーモードをOFFにします。

※この設定をONにするとLanScope Anによる通信が制限され、資産情報や位置情報などの取得ができなくなります。

Android 5.0以上の端末で「設定」-「電池」-「バッテリーセーバー」からバッテリーセーバーモードの設定が可能です。LanScope Anでは対応していません。バッテリーセーバーモードをONにしないでください。

また、電池残量が一定値を下回った場合にバッテリーセーバーモードをONにするか確認メッセージが表示されますが、バッテリーセーバーモードは有効にしないでください。

※機種によって設定画面は異なります。

右下の例では「設定」-「電源管理」-「低バッテリーモード」から設定を行うようになっています。このほか、「設定」-「バッテリー」-「STAMINAモード」といったメニューも存在します。



管理コンソールにログインする

管理コンソールへのログイン方法を確認します。

2-1 管理コンソールにログインする

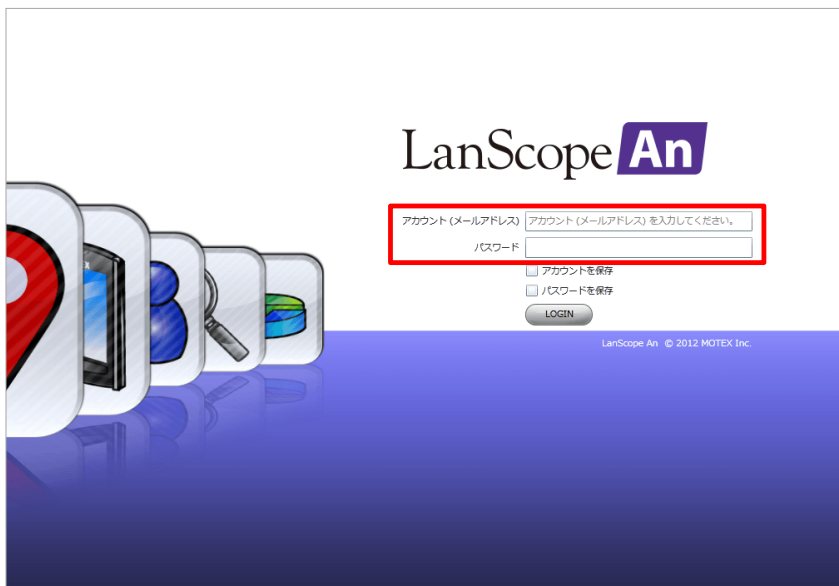
guide

2

管理コンソールにログインする

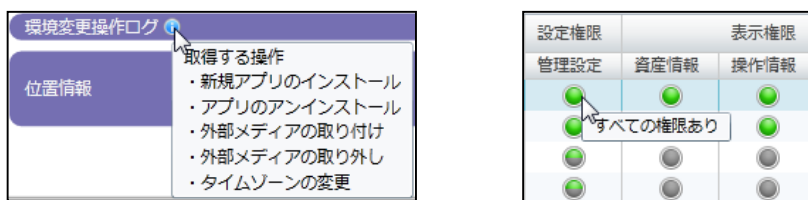
1. 納品メールに記載されているURLにアクセスします。
2. 納品メールに記載されているアカウントとパスワードを入力してログインします。

【管理コンソールログイン画面】

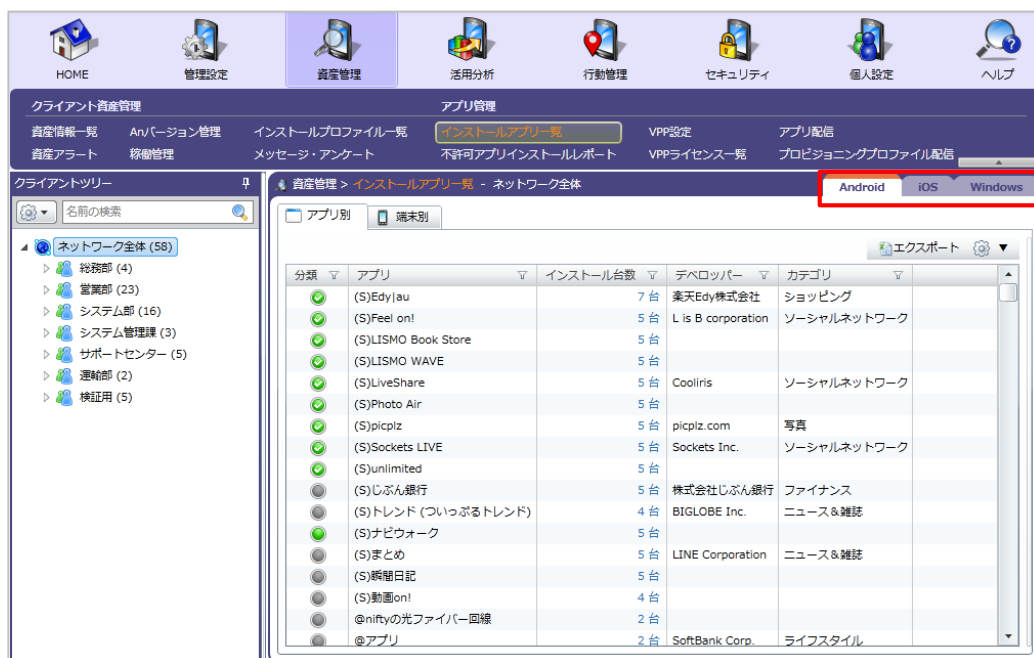


The image shows the login interface for LanScope An. On the left, there is a decorative graphic of a stack of icons including a red question mark, a monitor, a blue 'B', a magnifying glass, and a green cylinder. The main area features the 'LanScope An' logo at the top. Below the logo, there is a login form with two input fields: 'アカウント (メールアドレス)' (Account (Email Address)) and 'パスワード' (Password). The first field has a placeholder text 'アカウント (メールアドレス) を入力してください。' (Please enter your account (email address)). Below these fields are two checkboxes: 'アカウントを保存' (Save account) and 'パスワードを保存' (Save password). A 'LOGIN' button is positioned below the checkboxes. At the bottom right of the form area, the text 'LanScope An © 2012 MOTEX Inc.' is visible.

- 各画面に表示されているアイコンにマウスカーソルをあわせると、詳細情報が表示されます。



- 画面上に表示されているOSごとの情報を、タブで切り替えて確認できます。



タブ	説明
	Android/iOS/Windows を切り替えできます (該当画面：端末登録設定／インストールアプリ一覧など)
	OSが混在しています (該当画面：資産情報一覧／最新位置情報など)
①	特定のOSのみ切り替えできます (該当画面：①アンインストール防止設定／②パスワードポリシー設定など)
②	
③	特定のOSのみ表示できます (該当画面：③プロフィール登録／④端末別活用レポートなど)
④	

- 資産情報一覧などの画面は項目ごとにグルーピング（グループ分け）できます。
条件に合致する端末を見つけない時に便利です。

（例）営業2課に割り当てられている各OSの台数を調べる場合

1. 「資産管理」から「資産情報一覧」を開きます。
2. 右上の歯車アイコンから「グルーピング」「グルーピングを有効にする」を選択します。



3. 上部に「列ごとにグループ分けするときは、ここに列ヘッダーをドラッグします。」という領域が表示されるので、ここにグループ分けをしたい列ヘッダー（項目名）をドラッグします。

ここでは「部署」をドラッグして領域上で離します。



4. 「部署」ごとにグループ分けが行われました。さらに「営業2課」を▶で展開し、「OSタイプ」をドラッグして領域上で離します。



5. 「部署」と「OSタイプ」でグループ分けができました。

営業2課にはAndroidが2台、iOSが6台、Windowsが6台あることを確認することができました。



端末情報を登録する

端末にLanScope An Clientをインストールする前に、管理端末の情報を管理コンソールに登録して端末登録URLを発行します。LanScope An Clientのインストールには、端末登録URLが必要です。登録方法には、「1台ずつ登録する方法」と「一括で登録する方法」があります。

- 3-1 登録前に確認する
- 3-2 1台ずつ登録する
- 3-3 一括で登録する

guide

3

登録前に確認する

3-1

次の機能を利用したい場合に必要な設定を確認します。

・マルチユーザー制御機能

マルチユーザー制御機能は、マルチユーザー対応端末を制御するために端末利用者によるユーザーの追加や切り替えを検知し、設定画面への画面遷移の制御や警告画面を強制表示する機能です。

■マルチユーザー制御機能は、次の条件において設定が可能です。

- ・LanScope An Client Ver.2.7.0.0以上
- ・端末のOSがAndroid 5.0以上
- ・管理コンソールのログ取得設定で「マルチユーザー機能」が有効になっている
- ・端末側の設定で、[ユーザー補助]-[LanScope An Clientサービス] が有効になっている

■マルチユーザー制御機能を設定する場合は、管理コンソールであらかじめ次の設定を行います。

1. 「管理設定」メニューを選択し「ログ取得設定」をクリックします。

2. 部署ツリーから設定を作成・変更したい部署を選択します。

3. 右上のタブを「Android」に切り替えます。

4. 画面下部にある「新規」または「変更」をクリックすると、「ログ取得設定の作成（変更）」が開きます。

※部署別設定を未作成の部署のみ「新規」を選択できます。

5. 「制御」の「マルチユーザー機能を制御する」にチェックします。

6. 「OK」で設定を保存します。

※設定後、端末の登録を進めてください。

【ログ取得設定】

ログ取得設定	設定
マルチユーザー機能	※Android 5.0 未満は対応していません
端末情報	取得する
インストールアプリ情報	取得する
アプリ利用ログ	取得する
電話利用ログ	取得する
Webサイト閲覧ログ	取得する
※Android 6.0 以降は取得できません	
電源状態変更ログ	取得する
位置情報	取得する

【ログ取得設定の変更】

ログ取得設定の変更

メモ

ログ取得設定 (Android) のメモ

表示

☐ 端末使用者に設定情報を開示する

制御

☒ マルチユーザー機能を制御する

※Android 5.0 未満は対応していません。

資産

☒ 端末情報を取得する

☒ インストールアプリ情報を取得する

操作

☒ アプリ利用ログを取得する

☒ 電話時間のみ取得する

☒ 電話利用ログを取得する

☒ 電話時間のみ取得する

☒ Webサイト閲覧ログを取得する

※Android 6.0 以降は取得できません。

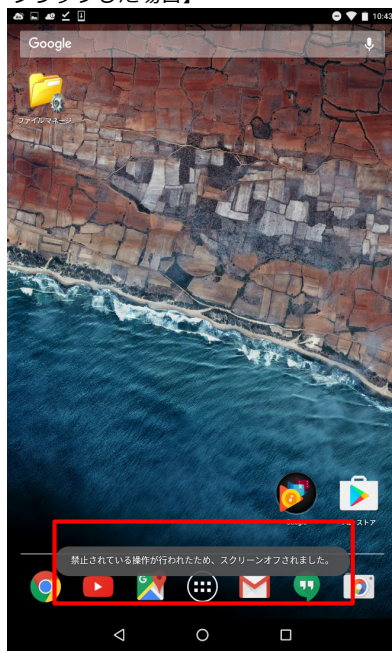
OK

- マルチユーザー機能を制御すると、ユーザーの追加や他のユーザーへの切り替えが端末上でできなくなり、画面には次のようなメッセージが表示されます。

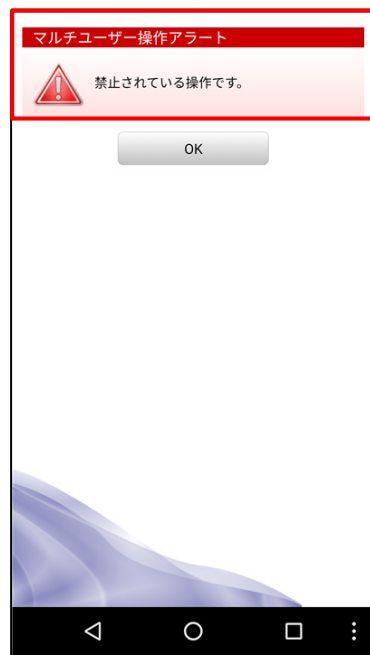
【「ユーザー補助」を
変更しようとした場合】



【[システムバー]-[ユーザーアイコン]を
クリックした場合】

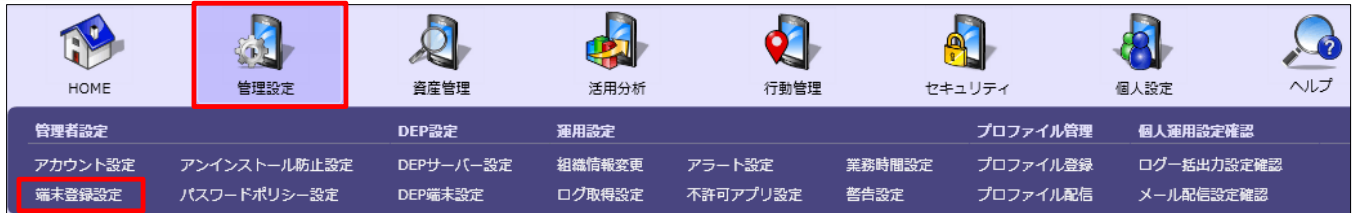


【ロック画面上で
[ユーザーアイコン]をクリックした場合】



1台ずつ登録する

3-2



1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
3. 画面下部にある「追加」をクリックし、「管理端末の追加」を表示します。

【端末登録設定】



◆入力項目について

- ①登録手順の通知方法は以下のいずれかを選択します。

- メールで通知
端末登録URLをメールで通知します。端末で受信できるメールアドレスを設定してください。
※「端末登録URLをメールで通知する」(p.30)を参照してください。
- メール以外で通知
端末登録設定画面で確認できる端末登録URLをエクスポートして、別途端末に通知します。
※「端末登録URLをその他の方法で通知する」(p.32)を参照してください。

【管理端末の追加】

The screenshot shows the '管理端末の追加' (Add Managed Device) form. The '登録手順の通知方法' (Notification method for registration procedure) section has two radio buttons: 'メールで通知' (Notify by email) and 'メール以外で通知' (Notify by other methods). The 'メールで通知' option is selected and highlighted with a red box and a circled '1'. Below it, there is a text input field for '通知先メールアドレス' (Notification destination email address). The form also includes fields for '名前 (使用者)' (Name (User)), '端末名' (Device name), and '部署' (Department). At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- ②「管理端末の情報」（名前（使用者）・端末名・部署1～5）を入力します。
入力しなかった場合は「組織情報変更」で登録できます。

※「組織情報変更」設定手順については、別紙「LanScope Anユーザーズガイド for Android」を確認してください。

※端末名は「自動」「手動」のいずれかを選択します。

【自動を選択した場合】：
「端末名」が「<製品名>_<10桁のNo>」で設定されます。

【手動を選択した場合】：
入力した内容が設定されます。

- ③管理端末の追加情報を入力する欄です。

端末側で「端末登録URL」をタップした時に、ここで入力した情報と、タップした端末の情報とが一致すれば登録に成功し、一致しなければ登録に失敗します。**誤って対象外の端末が登録されることを防止したい場合のみ**、管理端末の「電話番号（ハイフンなし）」か「端末識別番号」を入力します。

※端末識別番号を入力する場合は、IMEIもしくはシリアル番号を入力します。IMEIを入力する場合は「-」（ハイフン）抜きの数字のみを入力します。IMEI、シリアル番号の確認方法は、各機器のマニュアルなどを参照してください。

※③への入力は必須ではありません。

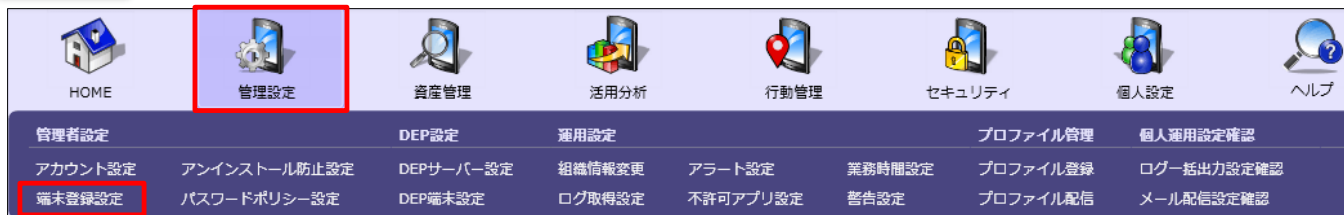
キitting作業中で、仮のSIMカードを入れて作業している（＝実際に利用する電話番号と異なる）などの場合は、ここには何も入力しないでください。

4. 端末情報の入力が完了したら、「OK」をクリックします。

【登録内容の追加】

一括で登録する

3-3



複数の端末を一括で登録します。登録方法は2種類あります。

【インポートで追加する場合】

1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
3. 画面下部にある「複数追加」をクリックすると、「管理端末の追加-複数-」が開きます。
4. 「インポートで追加する」を選択します。
5. 「参照」をクリックしてインポートしたいExcelファイルを選択すると、インポートするファイル名が①に表示されます。読み込んだファイルの1列目の項目が、②の「ファイルの列名」に表示されます。
※インポート可能なファイル形式：.xls/.xlsx
※1度につき1万台まで、合計3万台まで追加できます。

【端末登録設定】



【管理端末の追加-複数-】



◆インポートするファイルを作成する

- 1) 端末登録設定画面の右上にある「エクスポート」をクリックしデータを出力します。
- 2) 1) のファイルを元に該当する情報を入力します。
- 3) 入力完了後、ファイルを保存し、手順に従ってインポートします。

※端末登録が0件の場合は「管理端末の追加-複数-」画面右上「ひな形のダウンロード」から端末情報を入力するためのひな形となるファイルをダウンロードします。

※端末登録URLを管理コンソールからメール通知(p.30)したい場合は、ファイル内に通知先メールアドレスを記載しておく必要があります。

6. 「<」「>」で②のそれぞれの項目を③の関連付ける列名に移動させます。「自動選択」を選択した場合、自動で③の項目名と同じ名前の行が②から選ばれ、③の「関連付ける列名」に追加されます。管理コンソールからエクスポートしたデータを使用する際に選択すると便利です。

インポートできる項目は以下のとおりです。

- ・ 通知先メールアドレス
- ・ 電話番号
- ・ 端末識別番号
- ・ 名前（使用者）
- ・ 端末名
- ・ 部署名1～5

②と③の関連付けが完了したら「次へ」をクリックします。

【管理端末の追加-複数-】

追加方法の選択

LanScope An で端末を管理するために、対象端末を追加します。
※インポートすることで、対象端末に名前や部署情報などを紐づけて一括で追加することができます。

☒ インポートで追加する ☐ インポート以外で追加する

インポート設定

インポートファイル: 端末登録設定.xlsx

項目名	関連付ける列名
通知先メールアドレス	通知先メールアドレス
電話番号	電話番号
端末識別番号	端末識別番号
名前 (使用者)	名前 (使用者)
端末名	端末名
部署1	部署1
部署2	部署2
部署3	部署3
部署4	部署4
部署5	部署5

ファイルの列名

- 状態
- 通知先メールアドレス
- 電話番号
- 端末識別番号
- 名前 (使用者)
- 端末名
- 部署1
- 部署2
- 部署3

自動選択

次へ

キャンセル

7. 「登録設定の選択」画面からインポートするアカウントを選択し、④のチェックボックスにチェックを入れます。「インポート」をクリックするとインポートが開始されます。

【登録設定の選択】

登録設定の選択

登録設定 79 / 30000 追加 27 件

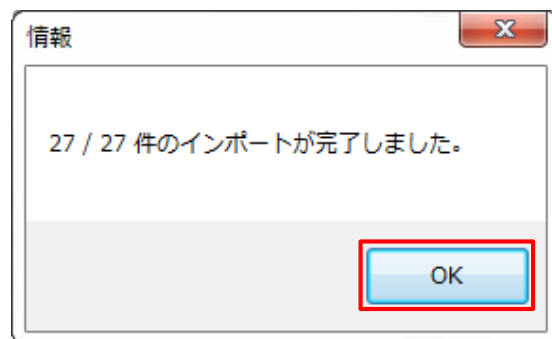
通知先メールアドレス	電話番号	端末識別番号	名前 (使用者)	端末名
☒	11111@motex.co.jp		六角 雷夫	hammerhead
☒	111112@motex.co.jp		江村 太郎	N-04C_0000C
☒	111113@motex.co.jp		橋中 栄一郎	GP2_000000I
☒	111114@motex.co.jp		内田 健太	L-22D_0000C
☒	111115@motex.co.jp		中田 真由美	404KC_0000I
☒	111116@motex.co.jp		橋 秀雄	picasso_aapc
☒	111117@motex.co.jp		石井 健二	P855D10_00I
☒	111118@motex.co.jp		平尾 晋作	404KC_0000I
☒	111119@motex.co.jp		佐藤 理恵子	404KC_0000I
☒	111120@motex.co.jp		元岸 雄三	XPE-03_0000C
☒	111121@motex.co.jp		中島 雄二	GP2_000000I
☒	111122@motex.co.jp		共有タブレット (システム部)	FAR7_000000I
☒	111123@motex.co.jp		青山 秀則	SC-03D_0000C
☒	111124@motex.co.jp		高橋 実	XPE-04_0000C
☒	111125@motex.co.jp		井上 正義	hammerhead
☒	111126@motex.co.jp		橋本 信也	SC-03D_0000C
☒	111127@motex.co.jp		中川 ゆうこ	404KC_0000I
☒	111128@motex.co.jp		東田 純太	F11_000000C
☒	111129@motex.co.jp		北星 智子	FAR7_000000I
☒	111130@motex.co.jp		遠藤 正造	hammerhead
☒	111131@motex.co.jp		栗田 都恵	volantis_0000C
☒	111132@motex.co.jp		小林 智子	HTC_ACE_00I
☒	111133@motex.co.jp		須藤 隆	volantis_0000C
☒	111134@motex.co.jp		宇野 雅義	JP_EPAD_00C
☒	111135@motex.co.jp		元中 隆	N-04C_0000C
☒	111136@motex.co.jp		検証用D	SH-10D_0000C
☒	111137@motex.co.jp		検証用E	MediaPad_00I

戻る

インポート

キャンセル

8. インポート完了後、情報ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。



9. インポートに成功したアカウントの一覧が表示されます。画面右端に表示される「情報メッセージ」列でインポートが完了していることを確認して、「閉じる」をクリックします。

【インポート結果の詳細】

インポート結果の詳細

登録済み 106 / 30000 追加 27 件 エクスポート

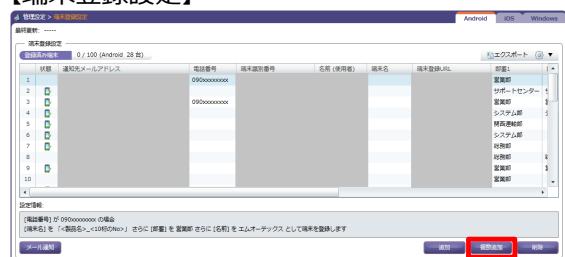
通知先メールアドレス	電話番号	請求識別番号	名前 (使用者)	端末名
1111111@motex.co.jp			六角 憲夫	hammerhead_0000
1111112@motex.co.jp			江村 太郎	N-04C_000000002
1111113@motex.co.jp			橋中 栄一郎	GP2_0000000019
1111114@motex.co.jp			内田 健太	L-22D_000000001
1111115@motex.co.jp			中田 真由美	404KC_000000002
1111116@motex.co.jp			橋 秀雄	picasso_aapus6jp
1111117@motex.co.jp			石井 健二	P855D10_0000000
1111118@motex.co.jp			平尾 晋作	404KC_000000001
1111119@motex.co.jp			佐藤 理恵子	404KC_000000000
1111120@motex.co.jp			元岸 雄三	XPE-03_00000000
1111121@motex.co.jp			中島 雄二	GP2_0000000002
1111122@motex.co.jp			共有タブレット (システム部)	FAR7_0000000004
1111123@motex.co.jp			香山 秀則	SC-03D_00000000
1111124@motex.co.jp			高橋 実	XPE-04_00000000
1111125@motex.co.jp			井上 正義	hammerhead_0000
1111126@motex.co.jp			橋本 信也	SC-03D_00000000
1111127@motex.co.jp			中川 ゆうこ	404KC_000000000
1111128@motex.co.jp			栗田 純太	F11_0000000008
1111129@motex.co.jp			北澤 智子	FAR7_0000000012
1111130@motex.co.jp			遠藤 正造	hammerhead_0000
1111131@motex.co.jp			武田 郁恵	volantis_00000000
1111132@motex.co.jp			小林 智子	HTC_ACE_0000000
1111133@motex.co.jp			渡藤 翔	volantis_00000000
1111134@motex.co.jp			宇野 雅典	JP_EPAD_00000000
1111135@motex.co.jp			元中 隆	N-04C_000000002
1111136@motex.co.jp			検証用D	SH-10D_000000000
1111137@motex.co.jp			検証用E	MediaPad_0000000

閉じる

[インポート以外で追加する場合]

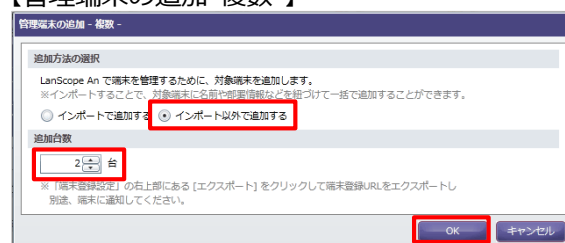
1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
3. 画面下部にある「複数追加」をクリックすると、「管理端末の追加-複数-」が開きます。
4. 「インポート以外で追加する」を選択します。
5. 登録したい端末の台数（＝発行したい端末登録URLの数）を入力して「OK」をクリックします。
※1度につき1万台まで、合計3万台まで追加できます。
6. 完了後、情報ダイアログが表示されるので「OK」をクリックします。

【端末登録設定】



複数追加

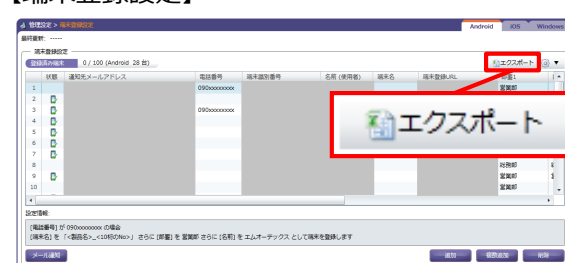
【管理端末の追加-複数-】



OK

7. 設定した台数分の端末登録URLが発行されるので、「端末登録設定」の「エクスポート」から端末登録URLをエクスポートしてユーザーに通知します。
※通知方法は、「端末登録URLをその他の方法で通知する」(p.32)を参照してください。

【端末登録設定】



ユーザーに端末登録URLを通知する

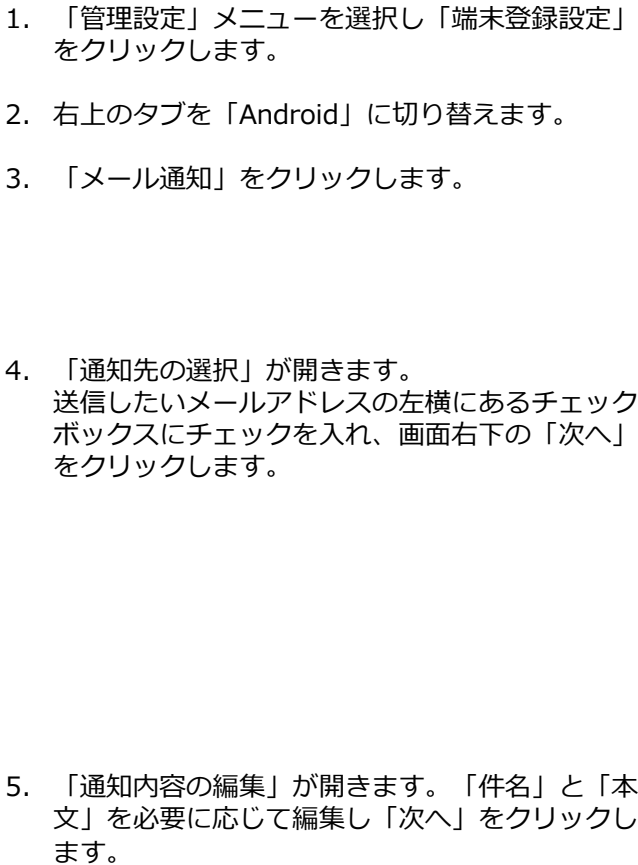
LanScope An Clientの端末登録URLを各ユーザーに通知します。

- 4-1 端末登録URLをメールで通知する
- 4-2 端末登録URLをその他の方法で通知する

guide

4

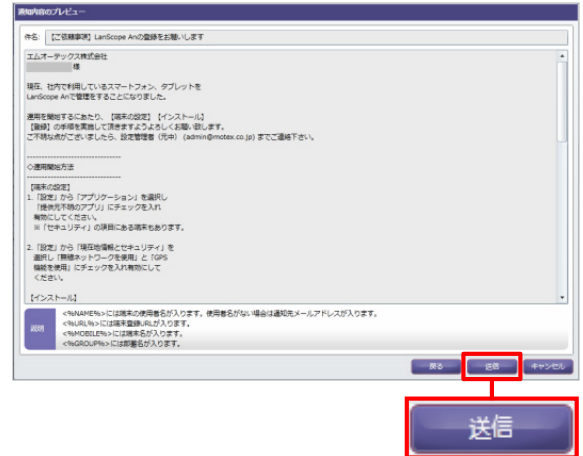
4-1



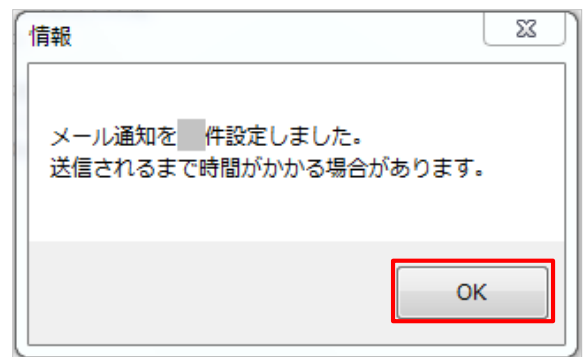
次入

6. 「通知内容のプレビュー」が表示されるので、間違いがなければ「送信」をクリックします。

【通知内容のプレビュー】



7. 送信設定完了後「メール通知を○件設定しました。送信されるまで時間がかかる場合があります。」という情報ダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。



※注意事項

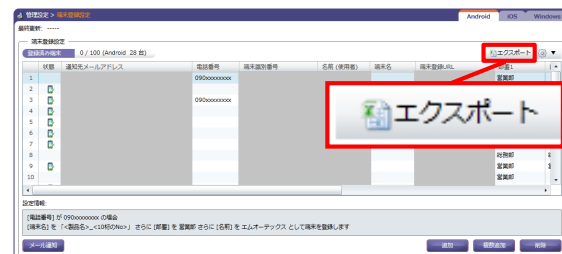
メール送信状態アイコンが「メール通知済みです」になっているにも関わらずメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダーにメールが振り分けられていないか、お客様環境側でスパムメールとして検知して受信を拒否する状態になっていないかをご確認ください。

端末登録URLをその他の方法で通知する



1. 「管理設定」メニューを選択し「端末登録設定」をクリックします。
2. 右上のタブを「Android」に切り替えます。
3. 「エクスポート」をクリックして、任意の名前を付けてファイルを保存します。

【端末登録設定】



4. エクスポートしたファイルに「端末登録URL（端末ごとに個別で発行されます）」が記載されているので、ユーザーに端末登録URLにアクセスするよう案内します。

端末登録URLにアクセスすると「LanScope An Client」のダウンロードボタン、端末登録ボタン、手順が掲載されているので、案内に従ってインストールと登録を進めます。

詳細な手順は「5-2 端末にインストールする（端末登録URLをその他の方法で通知した場合）」（p.44）を参照してください。

【端末登録URLアクセス時の画面イメージ】

LanScope An

LanScope An に端末を登録するには【端末の設定】【インストール】【登録】の手順を行う必要があります。

端末の設定

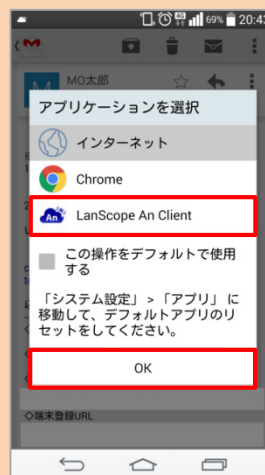
1. 「設定」から「アプリケーション」を選択し「提供元不明のアプリ」にチェックを入れ有効にしてください。
※「セキュリティ」の項目にある端末もあります。

◆通知方法例

- 保存したファイルを社内のファイルサーバにアップロードします。
ユーザーに社内メールでファイルアップロード場所を通知し、端末登録URLにアクセスするよう案内して、LanScope An Clientのインストールと登録を進めます。
- 保存したファイルを開き、「端末登録URL」と誰の端末登録URLかがわかるよう「名前（使用者）」などの必要情報をコピーしてチャット・社内掲示板にペーストします。端末登録URLにアクセスするよう案内して、LanScope An Clientのインストールと登録を進めます。

※注意事項

- 端末登録URLには、ブラウザーのJava Scriptを有効にした状態でアクセスしてください。
- セキュリティに特化したブラウザーでは、端末登録ボタンからの登録が行えない場合があります。標準ブラウザーからアクセスするか「LanScope An Client」をダウンロードしたあと、もう一度端末登録URLをタップし、URLを開くアプリケーションを選択する画面で「LanScope An Client」を選択して開いてください（右図）。登録が完了します。



端末にインストールする

管理対象の端末にLanScope An Clientのダウンロード・インストールを実施します。

- 5-1 端末にインストールする
(端末登録URLをメールで通知した場合)
- 5-2 端末にインストールする
(端末登録URLをその他の方法で通知した場合)
- 5-3 「デバイス管理者(機器管理者)」の設定について
- 5-4 「使用履歴にアクセスできるアプリ」の設定について
- 5-5 「ユーザー補助」の設定について
- 5-6 「アクセス設定」について
- 5-7 「電池の最適化 例外設定」について
- 5-8 インストール時、警告ダイアログが表示された時の対処方法
- 5-9 インストールに失敗した時の対処方法

guide

5

ここでは、端末登録URLをメール通知した場合（p.30）の、LanScope An Clientのダウンロード・インストール手順を確認します。

詳細な手順は「5-2 端末にインストールする（端末登録URLをその他の方法で通知した場合）」
(p.44)

※注意事項

詳細な手順は「5-8 インストール時、警告ダイアログが表示された時の対処方法」(p.64)を参照してください。



4

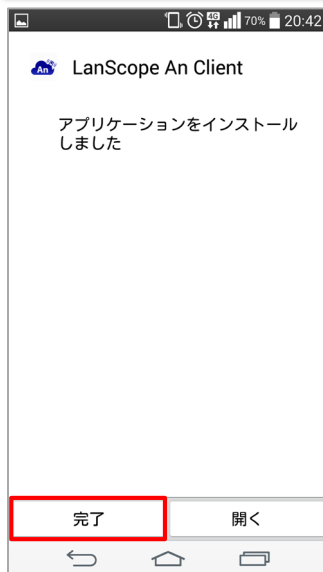
「インストール」
をタップ



「提供元不明のアプリ」の警告ダイアログが表示される場合があります。詳細は、p.64を参照してください。

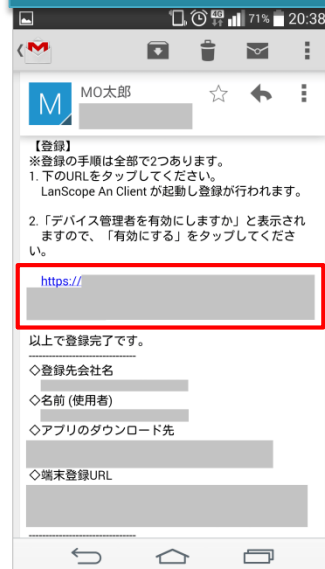
5

「完了」をタップ



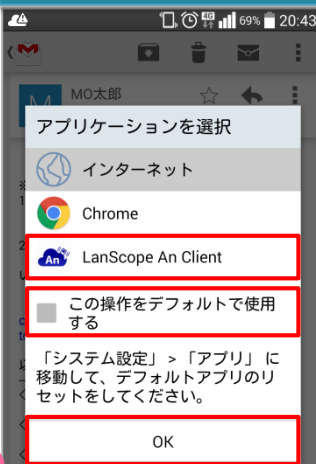
6

【登録】に記載のURL
にアクセス



7

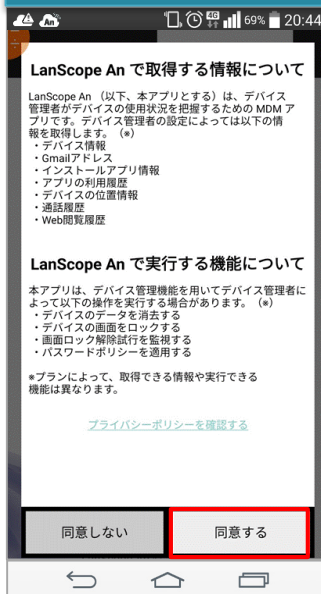
「LanScope An
Client」を選択してOKを
タップ



「この操作をデフォルトで使用する」にチェックが入っている場合は外します。また、端末登録URLをブラウザで開いた場合はp.66を参照します。

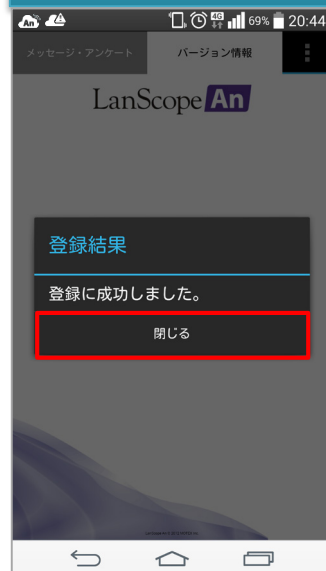
8

「同意する」をタップ

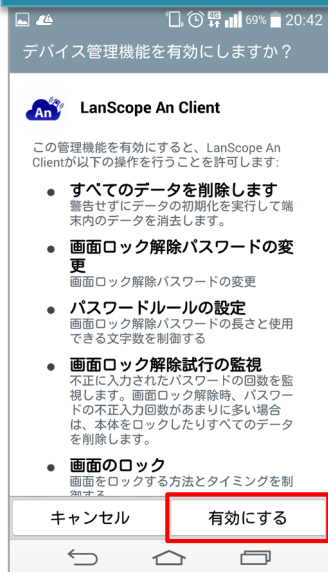


9

「閉じる」をタップ



「有効にする」 をタップ



手順11からは、AndroidのOSバージョンによって異なります。
各OSバージョンの設定手順は、以下のページを参照してください。

■ **Android 5.0未満の場合** →p.38を参照してください

■ **Android 5.0以上の場合** →p.39～40を参照してください

■ **Android 6.0以上の場合** →p.41～43を参照してください

[Android 5.0未満の場合]

11

すべての項目が有効になっていることを確認し、画面を閉じる



「デバイス管理者」設定の詳細は、p.53を参照してください。

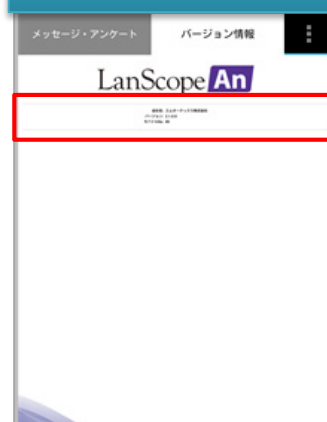
12

LanScope An Client
をタップ



13

会社名を確認し、完了

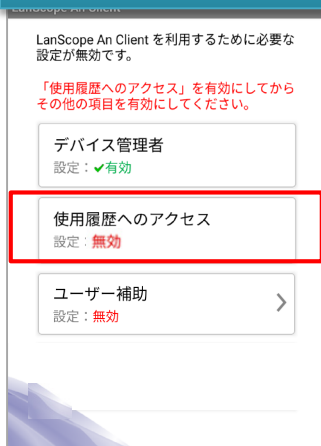


正しく会社名が表示されていれば、登録に成功しています。

[Android 5.0以上の場合]

11

「使用履歴への
アクセス」をタップ



「使用履歴へのアクセス」設定の詳細はp.55を参照してください。

12

「LanScope An Client」
をタップ



13

「OK」をタップ



アプリ利用ログを取得するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

14

「ユーザー補助」を
タップ



「ユーザー補助」設定は、マルチユーザー制御機能を利用する場合のみ表示されます。表示されない場合は、次ページの手順18へ進んでください。「ユーザー補助」設定の詳細はp.57を参照してください。

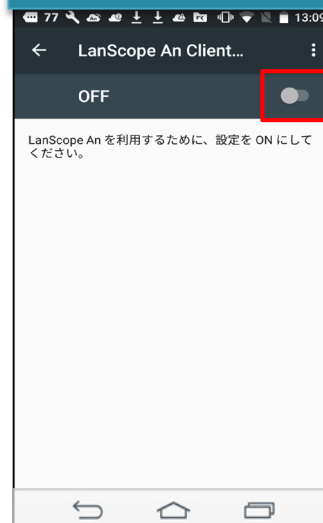
15

「LanScope An Client
サービス」をタップ



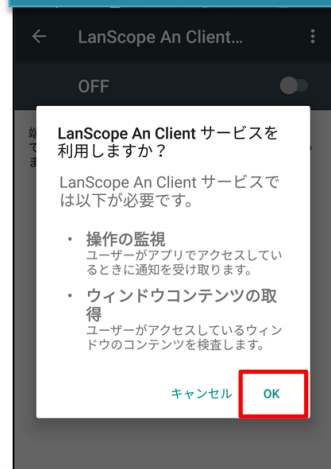
16

スライドして「ON」に
する



17

「OK」をタップ



！ マルチユーザー機能を制御するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

18

すべての項目が有効になっていることを確認し、画面を閉じる



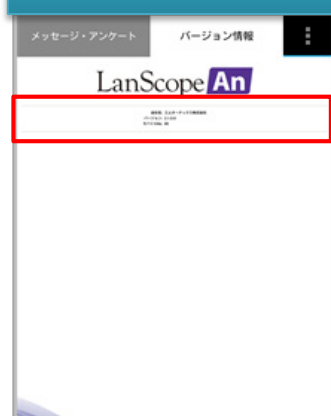
19

LanScope An Client をタップ



20

会社名を確認し、完了



！ 正しく会社名が表示されていれば、登録に成功しています。

[Android 6.0以上の場合]

11

「使用履歴への
アクセス」をタップ

LanScope An Client を利用するために必要な
設定が無効です。

「使用履歴へのアクセス」を有効にしてから
その他の項目を有効にしてください。

デバイス管理者
設定：有効

使用履歴へのアクセス
設定：無効

ユーザー補助
設定：無効

アクセス設定
設定：有効

電池の最適化 例外設定
設定：無効

「使用履歴へのアクセス」設定の
詳細はp.55を参照してください。

12

「LanScope An Client」
をタップ



13

「OK」をタップ



アプリ利用ログを取得するために
必要な設定です。必ず「OK」を
タップします。

14

「ユーザー補助」を
タップ

LanScope An

LanScope An Client を利用するために必要な
設定が無効です。

デバイス管理者
設定：有効

使用履歴へのアクセス
設定：有効

ユーザー補助
設定：無効

アクセス設定
設定：有効

電池の最適化 例外設定
設定：無効

「ユーザー補助」設定は、マルチ
ユーザー制御機能を利用する場
合のみ表示されます。表示されない
場合は、次ページの手順18へ進
んでください。「ユーザー補助」
設定の詳細はp.57を参照してく
ださい。

15

「LanScope An Client
サービス」をタップ



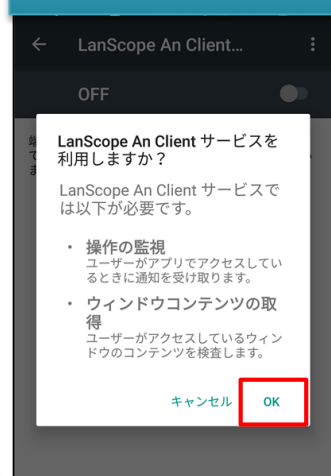
16

スライドして「ON」に
する



17

「OK」をタップ



！ マルチユーザー機能を制御するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

18

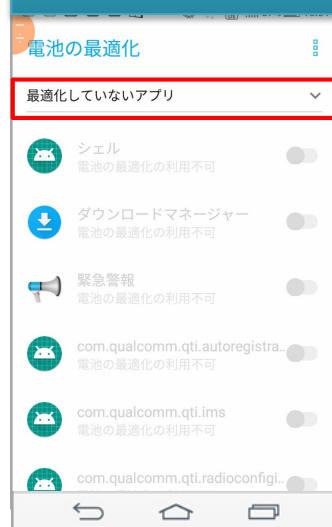
「電池の最適化 例外設定」をタップ



！ 「電源の最適化 例外設定」の詳細はp.62を参照してください。

19

「最適化していないアプリ」をタップ



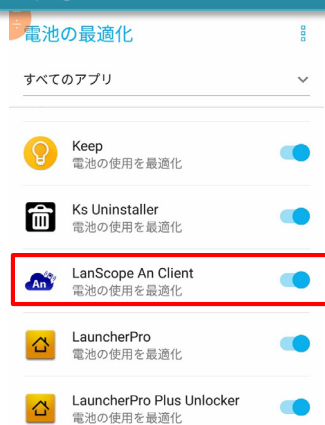
20

「すべてのアプリ」をタップ



21

LanScope An Clientを最適化しない設定にする



！ 端末からのログ取得や通信を行うため必要な手順です。必ずLanScope An Clientを最適化しない設定にしてください。

22

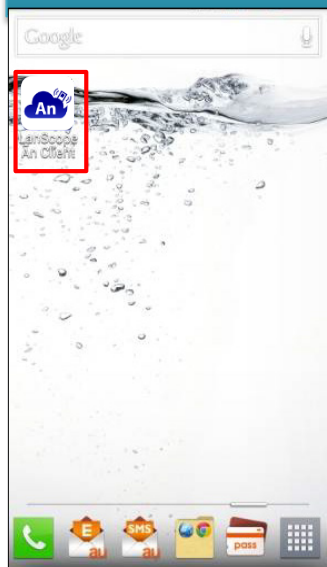
すべての項目が有効になっていることを確認し、画面を閉じる



！ 「アクセス設定」は初期値で有効になっています。詳細はp.59を参照してください。

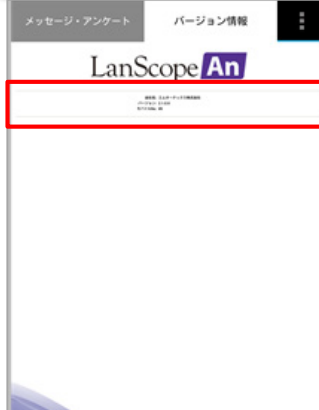
23

LanScope An Client
をタップ



24

会社名を確認し、完了



!

正しく会社名が表示されていれば、
登録に成功しています。

端末にインストールする (端末登録URLをその他の方法で通知した場合)

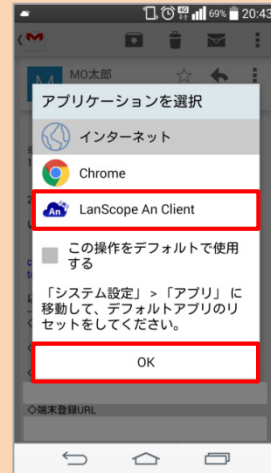
※機種により手順が異なる場合があります。

ここでは、端末登録URLをその他の方法で通知した場合（p.32）の、LanScope An Clientのダウンロード・インストール手順を確認します。

※端末登録URLをメールで通知した場合は、「5-1 端末にインストールする（端末登録URLをメールで通知した場合）」（p.35）からの手順を参照してください。

※注意事項

- 端末登録URLには、ブラウザのJava Scriptを有効にした状態でアクセスしてください。
- セキュリティに特化したブラウザでは、端末登録ボタンからの登録が行えない場合があります。
標準ブラウザからアクセスするか「LanScope An Client」をダウンロードしたあと、もう一度端末登録URLをタップし、URLを開くアプリケーションを選択する画面で「LanScope An Client」を選択して開いてください（右図）。登録が完了します。
- アプリインストール時、警告ダイアログが表示される場合があります。その場合、画面の指示に従って、「提供元不明のアプリ」をインストールできるように設定してください。
詳細な手順は「5-8 インストール時、警告ダイアログが表示された時の対処方法」（p.64）を参照してください。



1

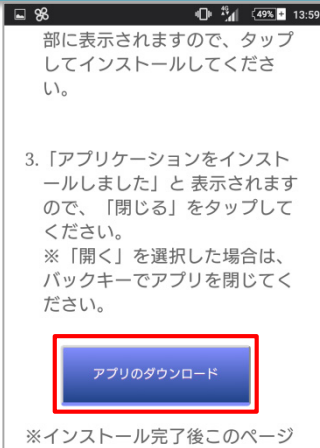
通知された端末登録URL
にアクセス



「端末の設定」がされているか再度確認します。詳細な手順は「1-1 端末の準備をする」（p.14）を参照してください。

2

「アプリのダウンロード」をタップ



「アプリのダウンロード」をタップしても、ダウンロードが開始されない場合があります。詳細は、p.67を参照してください。

3

ダウンロードしたアプリ
をタップ



上部に表示されている「!!」を下にスワイプし、通知領域を開いて「LanScope Anダウンロード完了」をタップします。

4

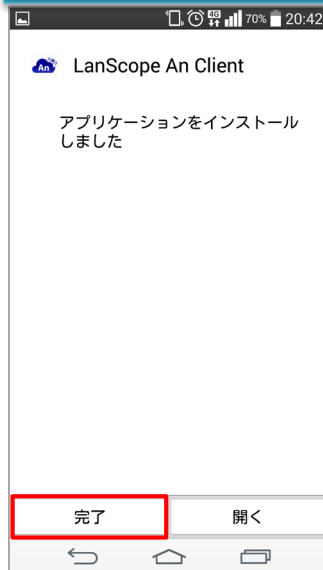
「インストール」
をタップ



「提供元不明のアプリ」の警告ダイアログが表示される場合があります。詳細は、p.64を参照してください。

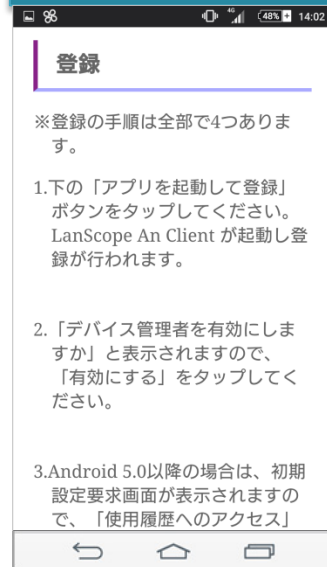
5

「完了」をタップ



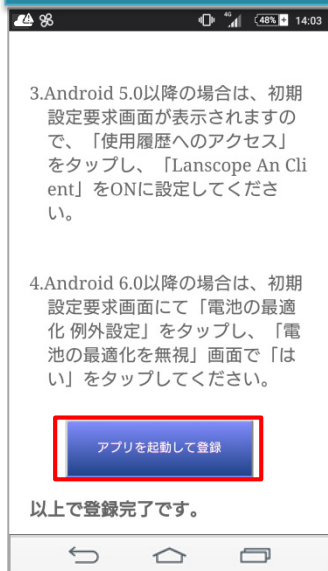
6

端末登録URLページ
に戻る



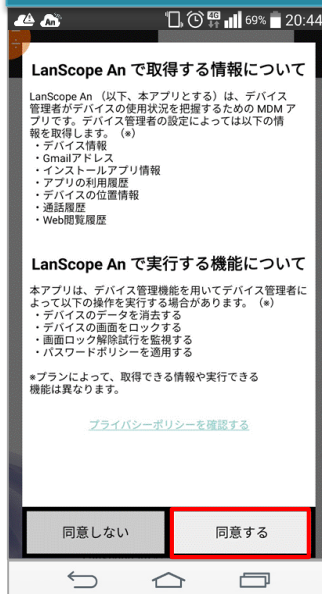
7

「アプリを起動して
登録」をタップ



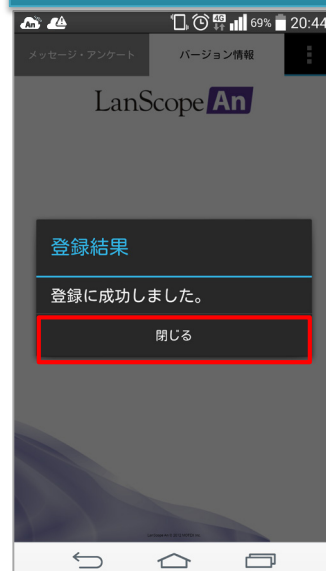
8

「同意する」をタップ

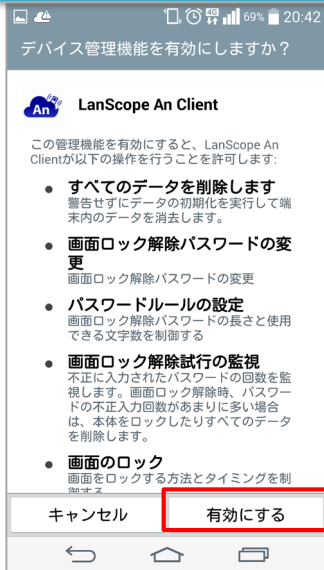


9

「閉じる」をタップ



「有効にする」をタップ



手順10からは、AndroidのOSバージョンによって異なります。
各OSバージョンの設定手順は、以下のページを参照してください。

■ **Android 5.0未満の場合** →p.47を参照してください

■ **Android 5.0以上の場合** →p.48～49を参照してください

■ **Android 6.0以上の場合** →p.50～52を参照してください

[Android 5.0未満の場合]

11

すべての項目が有効になっていることを確認し、画面を閉じる



「デバイス管理者」設定の詳細は、p.53を参照してください。

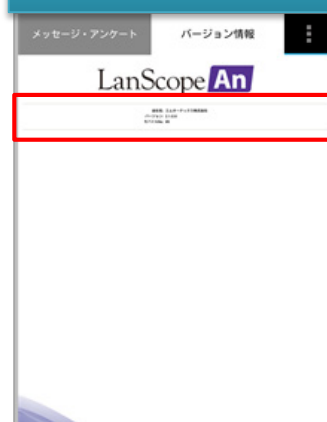
12

LanScope An Client
をタップ



13

会社名を確認し、完了

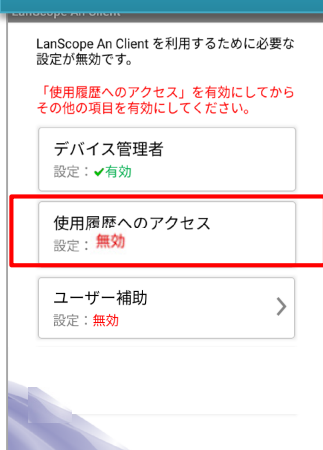


正しく会社名が表示されていれば、登録に成功しています。

[Android 5.0以上の場合]

11

「使用履歴への
アクセス」をタップ



「使用履歴へのアクセス」設定の詳細はp.55を参照してください。

12

「LanScope An Client」
をタップ



13

「OK」をタップ



アプリ利用ログを取得するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

14

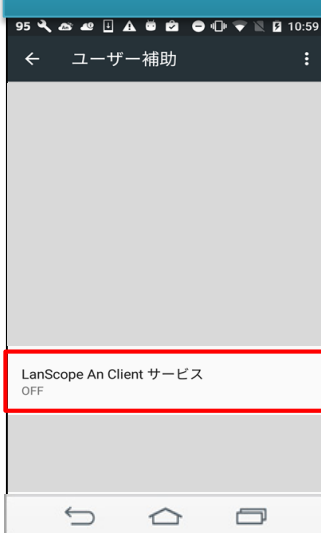
「ユーザー補助」を
タップ



「ユーザー補助」設定は、マルチユーザー制御機能を利用する場合のみ表示されます。表示されない場合は、次ページの手順18へ進んでください。「ユーザー補助」設定の詳細はp.57を参照してください。

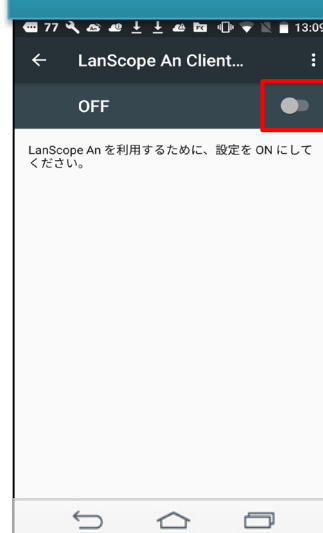
15

「LanScope An Client
サービス」をタップ



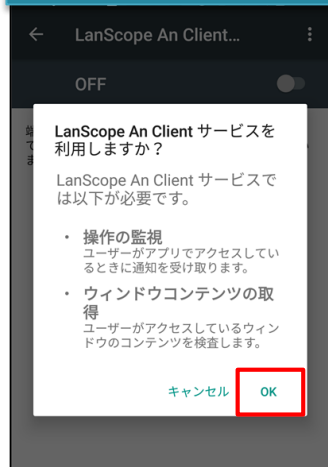
16

スライドして「ON」に
する



17

「OK」をタップ



！ マルチユーザー機能を制御するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

18

すべての項目が有効になっていることを確認し、画面を閉じる



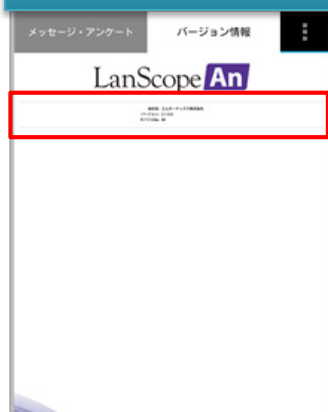
19

LanScope An Client をタップ



20

会社名を確認し、完了



！ 正しく会社名が表示されていれば、登録に成功しています。

[Android 6.0以上の場合]

11

「使用履歴へのアクセス」をタップ

LanScope An Client を利用するために必要な設定が無効です。

「使用履歴へのアクセス」を有効にしてからその他の項目を有効にしてください。

デバイス管理者
設定：有効

使用履歴へのアクセス
設定：無効

ユーザー補助
設定：無効

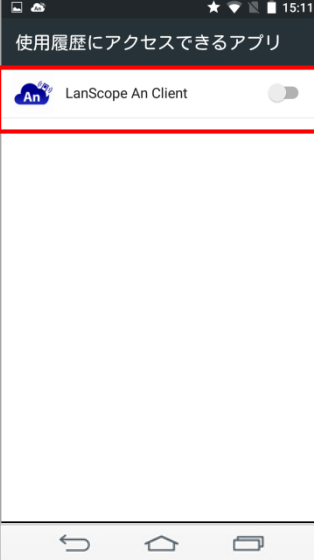
アクセス設定
設定：有効

電池の最適化 例外設定
設定：無効

「使用履歴へのアクセス」設定の詳細はp.55を参照してください。

12

「LanScope An Client」をタップ



13

「OK」をタップ



アプリ利用ログを取得するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

14

「ユーザー補助」をタップ

LanScope An

LanScope An Client を利用するために必要な設定が無効です。

デバイス管理者
設定：有効

使用履歴へのアクセス
設定：有効

ユーザー補助
設定：無効

アクセス設定
設定：有効

電池の最適化 例外設定
設定：無効

「ユーザー補助」設定は、マルチユーザー制御機能を利用する場合のみ表示されます。表示されない場合は、次ページの手順18へ進んでください。「ユーザー補助」設定の詳細はp.57を参照してください。

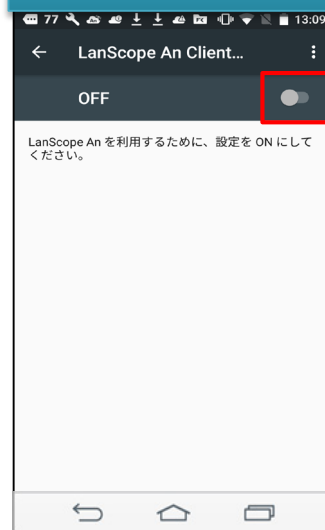
15

「LanScope An Client サービス」をタップ



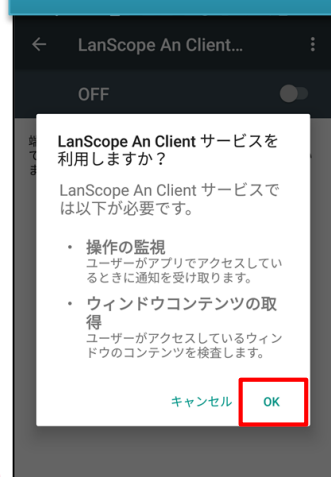
16

スライドして「ON」にする



17

「OK」をタップ



！ マルチユーザー機能を制御するために必要な設定です。必ず「OK」をタップします。

18

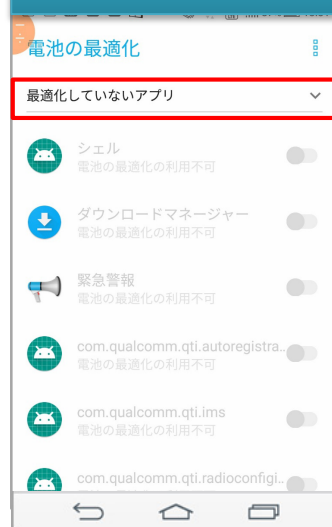
「電池の最適化 例外設定」をタップ



！ 「電源の最適化 例外設定」の詳細はp.62を参照してください。

19

「最適化していないアプリ」をタップ



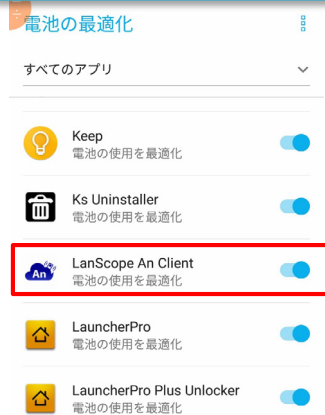
20

「すべてのアプリ」をタップ



21

LanScope An Clientを最適化しない設定にする



！ 端末からのログ取得や通信を行うため必要な手順です。必ずLanScope An Clientを最適化しない設定にしてください。

22

すべての項目が有効になっていることを確認し、画面を閉じる



！ 「アクセス設定」は初期値で有効になっています。詳細はp.59を参照してください。

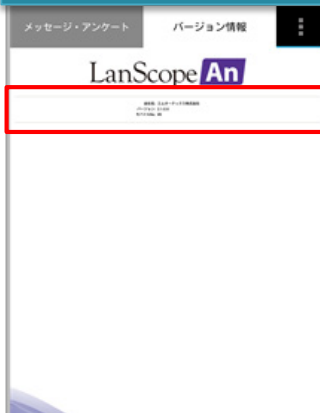
23

LanScope An Client
をタップ



24

会社名を確認し、完了



正しく会社名が表示されていれば、
登録に成功しています。

「デバイス管理者（機器管理者）」の設定について

※機種により手順が異なる場合があります。

端末に対してリモート操作（リモートロック・リモートワイプ）を行うため、LanScope An Clientの「デバイス管理者（機器管理者）」を有効にする必要があります。初期設定では無効となっています。「デバイス管理者」を有効にしない場合、下記1の画面が表示され続けます。

- ※「使用履歴へのアクセス」はAndroid 5.0未満では表示されません。また、「使用履歴へのアクセス」を設定できる環境で有効にしていない場合、他の項目は有効にできません。
- ※「アクセス設定」、「電池の最適化 例外設定」はAndroid 6.0未満では表示されません。
- ※「ユーザー補助」はAndroid 5.0以上で、マルチユーザー制御機能を有効にした場合に表示されます。

▼5-1 手順10／5-2 手順10で「デバイス管理者」を有効にしなかった場合の対処方法



▼「デバイス管理者」の設定状況を確認する方法

1

「設定」を開き「セキュリティ」をタップ



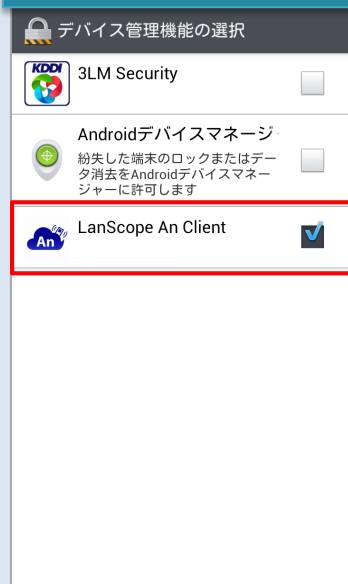
2

「デバイス管理機能の選択」をタップ



3

有効になっているかを確認



「使用履歴にアクセスできるアプリ」の設定について

※機種により手順が異なる場合があります。

端末からアプリ稼働ログを取得するため、LanScope An Clientを「使用履歴にアクセスできるアプリ」として登録する必要があります。初期設定では無効になっています。

「使用履歴にアクセスできるアプリ」を有効にしない場合、下記1の画面が表示され続けます。

また、他の項目は有効にできません。

※本設定はアプリ稼働ログを取得するために必要な設定です。（Android 5.0以上のみ）

※「アクセス設定」、「電池の最適化 例外設定」はAndroid 6.0未満では表示されません。

※「ユーザー補助」はAndroid 5.0以上で、マルチユーザー制御機能を有効にした場合にのみ表示されます。

▼5-1 手順12 / 5-2 手順12で「使用履歴へのアクセス」を有効にしなかった場合の対処方法



▼「使用履歴へのアクセス」の設定状況を確認する方法



「ユーザー補助」の設定について

※機種により手順が異なる場合があります。

端末のマルチユーザー機能を制御するため、LanScope An Clientの「ユーザー補助」を有効にする必要があります。初期設定では無効になっています。

「ユーザー補助」を有効にしない場合、下記1の画面が表示され続けます。

※「使用履歴へのアクセス」はAndroid 5.0未満では表示されません。また、「使用履歴へのアクセス」を設定できる環境で有効にしていない場合、他の項目は有効にできません。

※「アクセス設定」、「電池の最適化 例外設定」はAndroid 6.0未満では表示されません。

※「ユーザー補助」はAndroid 5.0以上で、マルチユーザー制御機能を有効にした場合に 표시됩니다。

▼5-1 手順17／5-2 手順17 で「ユーザー補助」を有効にしなかった場合の対処方法

1

「ユーザー補助」を
タップ



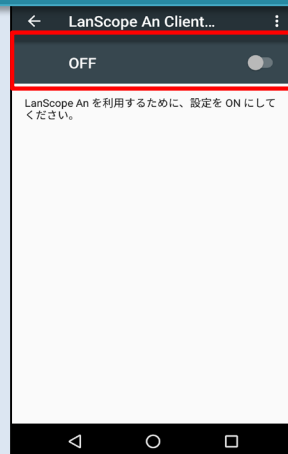
2

「LanScope An Client
サービス」をタップ



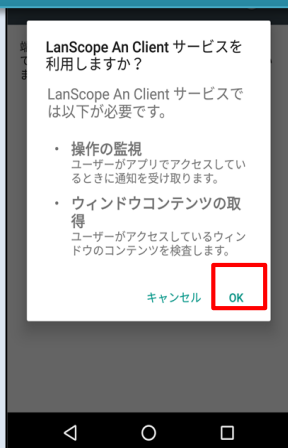
3

スライドして「ON」に
する



4

「LanScope An Client
サービスを利用します
か？」でOKをタップ



▼「ユーザー補助」の設定状況を確認する方法



「アクセス設定」について

5-6

※機種により手順が異なる場合があります。

端末から位置情報ログをはじめとした情報を取得するため、LanScope An Clientの「アプリへのアクセス権限設定」を有効にする必要があります。初期設定では有効となっています。

「アクセス設定」を有効にしない場合、下記1の画面が表示され続けます。

※「使用履歴へのアクセス」を有効にしていない場合、他の項目は有効にできません。

※「アクセス設定」、「電池の最適化 例外設定」はAndroid 6.0未満では表示されません。

※「ユーザー補助」はAndroid 5.0以上で、マルチユーザー制御機能を有効にした場合に表示されます。

▼「アクセス設定」を有効にしなかった場合の対処方法（Android 6.0以上7.0未満の手順）

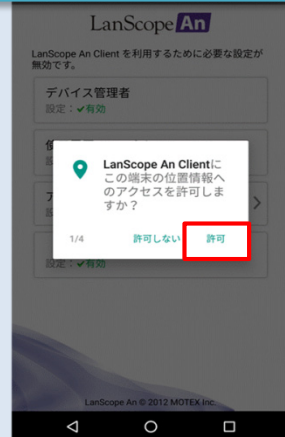
1

「アクセス設定」をタップ



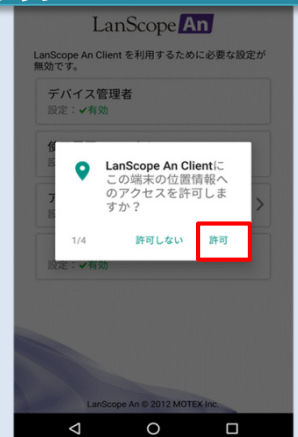
2

「この端末の位置情報へのアクセスを許可しますか？」で「はい」をタップ



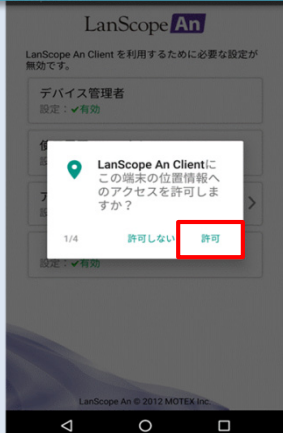
3

「連絡先へのアクセスを許可しますか？」で「許可」をタップ



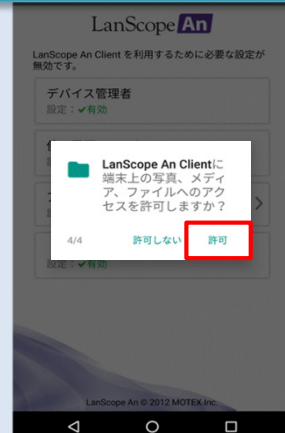
4

「通話と発信を許可しますか？」で「許可」をタップ



5

「端末上の写真、メディア、ファイルへのアクセスを許可しますか？」で「許可」をタップ



▼「アクセス設定」を有効にしなかった場合の対処方法（Android 7.0以降の手順）

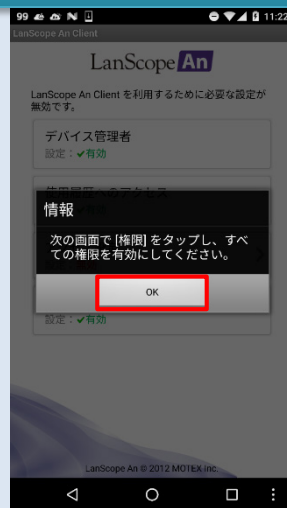
1

「アクセス設定」をタップ



2

「次の画面で[権限]をタップし、すべての権限を有効にしてください。」で「OK」をタップ



3

「権限」をタップ



4

全項目をタップして有効にする



※ 全項目を有効にしたあとも、初期設定要求画面が表示される場合があります。
その場合、一旦「電話」を無効にしたあと、再度有効にしてください。

▼「アクセス設定」の設定状況を確認する方法



「電池の最適化 例外設定」について

5-7

※機種により手順が異なる場合があります。

端末からアプリ稼働ログの取得や通信を行うため、LanScope An Clientの「電池の最適化 例外設定」を有効にする必要があります。初期設定では無効になっています。

「電池の最適化 例外設定」を有効にしない場合、下記1の画面が表示され続けます。

※「使用履歴へのアクセス」を有効にしない場合、他の項目は有効にできません。

※「アクセス設定」、「電池の最適化 例外設定」はAndroid 6.0未満では表示されません。

※「ユーザー補助」はAndroid 5.0以上で、マルチユーザー制御機能を有効にした場合にのみ表示されます。

▼5-1 手順21／5-2 手順21で「電池の最適化 例外設定」を有効にしなかった場合の対処方法

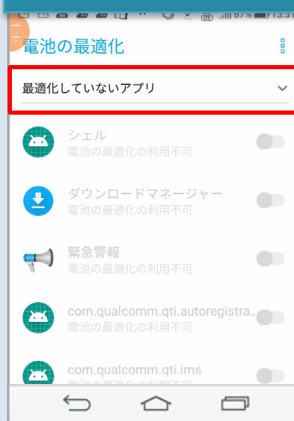
1

「電池の最適化 例外設定」をタップ



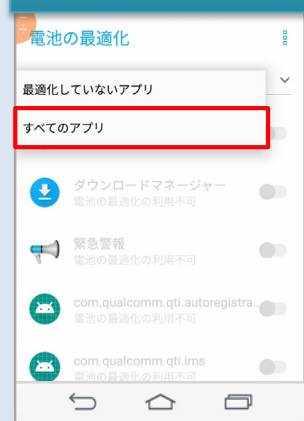
2

「最適化していないアプリ」をタップ



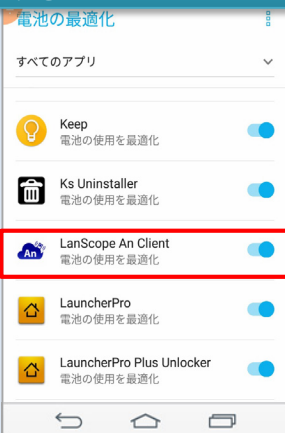
3

「すべてのアプリ」をタップ



4

LanScope An Clientを最適化しない設定にする



※ LanScope An Clientが最適化しない設定になっても、初期設定要求画面が表示される場合があります。その場合、一旦 LanScope An Clientを最適化する設定にし、上記手順1から再度実施してください。

▼「電池の最適化」の設定状況を確認する方法

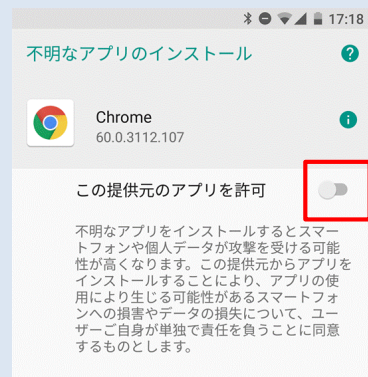


インストール時、警告ダイアログが表示された時の対処方法

※機種により手順が異なる場合があります。

LanScope An Clientのインストール時、警告ダイアログが表示される場合があります。その場合、「提供元不明のアプリ」をインストールできるように設定する必要があります。以下の手順を参考に設定を行ってください。

▼5-1 手順4／5-2 手順4 で警告ダイアログが表示された場合の対処方法



※Android 8.0の場合
Android 8.0より、アプリケーションごとに「提供元不明のアプリ」の許可が必要です。

左の画面は、Chromeでアプリをダウンロードしてインストールする場合の例です。

インストールに失敗した時の対処方法

5-9

▼ 5-1 手順2／5-2 手順3で「ファイルが開けません」と表示される場合の対処方法

5-1 手順2 (p.35) ／5-2 手順3 (p.44) で「ファイルが開けません」と表示される場合は、下記手順を実行します。

■ ブラウザーのキャッシュをクリアします。

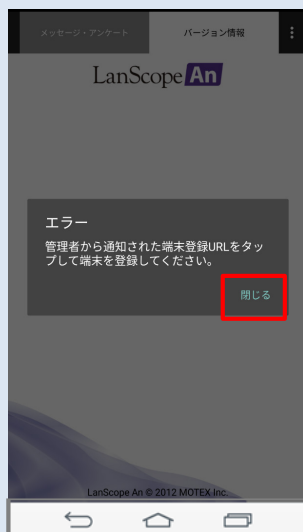
1. 「メニュー」→「設定」→「プライバシー」→「閲覧履歴データを消去する」を選択します。
2. 「閲覧履歴」「Cookieとサイトデータ」「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを入れ、「データを消去」をタップします。
(ブラウザーによって項目名が異なる場合があります)

■ ダウンロードファイルを削除します。

ダウンロードファイル一覧の中から、「LanScope An」の文字列が含まれるファイルをすべて削除します。

上記2点の作業を実施した後、ファイルのダウンロードからやり直します。
それでも解消しない場合はお問い合わせください。(p.71)

▼ 5-1 手順5／5-2 手順5で「完了」ではなく「開く」をタップした場合の対処方法



5-1 手順5 (p.36) ／5-2 手順5 (p.45) で「完了」ではなく「開く」をタップした場合、左記の画面が表示されます。「閉じる」をタップして、ホーム画面に戻り、手順6以降の手順を実施します。

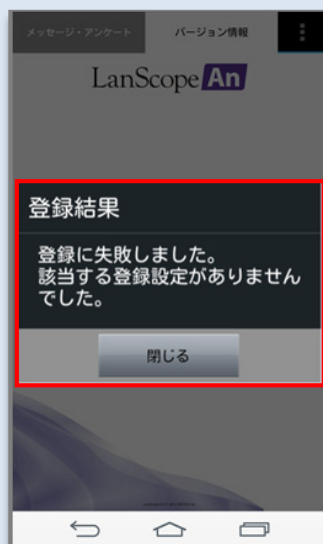
▼ 5-1 手順7で端末登録URLをブラウザで開いた場合の対処方法



5-1 手順7 (p.36) で端末登録URLをブラウザで開いた場合、ブラウザに左の画面が表示されるので「アプリを起動して登録」をタップします。

ただし、「LanScope An Client」がインストールされていない状態でタップすると、ページが見つからない旨のエラーが表示されます。その場合は、手順1から実施してください。

▼ 5-1 手順9／5-2 手順9で「登録に失敗しました」と表示される場合の対処方法



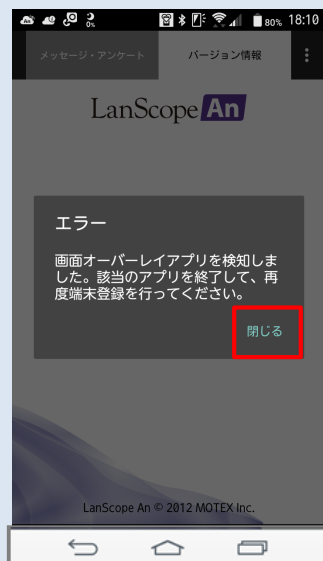
5-1 手順9 (p.36) ／5-2 手順9 (p.45) で「登録に失敗しました」と表示される場合は、端末登録時に入力した情報を確認めた上で、再度登録を行います。

入力情報が正しいにもかかわらず登録に失敗する場合は、以下の方法でアプリをアンインストールします。

1. 端末の「設定」メニューをタップします。
2. 「現在地とセキュリティ」または「セキュリティ」をタップします。
3. 「デバイス管理者を選択」または「端末管理者」をタップします。
4. LanScope An Clientをタップしてチェックを外します。
5. 「設定」メニューの「アプリケーション」をタップします。
6. 「ダウンロード済み」もしくは「全て」をタップします。
7. 「LanScope An」をタップしてアンインストールします。

アンインストールが完了すれば管理コンソールにログインし、端末登録設定画面で該当端末にチェックを入れて「削除」します。その後「追加」をクリックして端末登録を行います。(p.23)
メール通知後、再度端末側でインストール・登録を行います。

▼ 5-1 手順9・Android 5.0以上 手順15・Android 6.0以上 手順15／
5-2 手順9・Android 5.0以上 手順15・Android 6.0以上 手順15 で
「画面オーバーレイアプリを検知しました」と表示される場合の対処方法



5-1 手順9 (p.36) ・ Android 5.0以上 手順15 (p.39) ・ Android 6.0以上 手順15 (p.41) ／
5-2 手順9 (p.45) ・ Android 5.0以上 手順15 (p.48) ・ Android 6.0以上 手順15 (p.50) で、
「画面オーバーレイアプリを検知しました」と表示される場合は、画面オーバーレイアプリが起動しています。

「閉じる」をタップして終了し、画面オーバーレイアプリを停止してから再度端末登録 (p.35またはp.44) を行ってください。

▼ 5-2 手順2でアプリのダウンロードが開始されない場合の対処方法

5-2 手順2 (p.44) でアプリのダウンロードが開始されない場合は、下記手順を実施します。

1. アプリのダウンロードリンク (<https://anstorage.blob.core.windows.net/install/LanScopeAn.apk>) をメール等で端末に通知します。
2. 端末に通知したアプリのダウンロードリンクをブラウザで開きます。
しばらくすると、アプリのダウンロードが開始されます。

上記手順を実施しても、解消しない場合はお問い合わせください。(p.71)

インストール後に確認する

端末登録URLを通知したあと、端末でLanScope An Clientがインストールされたかどうか確認します。

6-1 インストール後に確認する

guide

6

インストール後に確認する

6-1

【端末登録設定】



【状態・メール送信状態アイコン】

アイコン	ステータス
	登録済みです。
(なし)	メール通知も登録もされていません。
	メール送信待機中です。
	メール通知済みです。
	メール送信に失敗しています。 下記リンクよりお問い合わせください。 (p.71)

- 「管理設定」メニューを選択し、「端末登録設定」をクリックします。
 - タブを「Android」に切り替えます。
 - 画面右にある「端末登録日時」を確認し、日時の情報が表示されているかをチェックしてください。
 - 表示されている場合：インストール成功
 - 表示されていない場合：未インストールまたはインストール失敗
 - 「端末登録日時」列に表示がない場合は、端末の所有者に確認してください。
 - インストール完了後「完了」ではなく「開く」をタップしていた場合は登録が完了していない可能性があります。メール等に記載の端末登録URLをタップして登録するよう端末利用者に通知してください。(p.65)
 - LanScope Anからメールが送られてきていない場合は、メールアドレスが正しいか確認の上、再度「メール通知」を行ってください。(p.30)
 - LanScope Anからメールが送られておらず、メールアドレスが間違っていた場合は、「端末登録設定」で該当するメールアドレスにチェックを入れ、削除をクリックし再度登録 (p.20) してください。
- ※メール送信状態アイコンが「メール通知済みです」になっているにも関わらずメールが届かない場合は、迷惑メールフォルダーにメールが振り分けられていないか、お客様環境側でスパムメールとして検知して受信を拒否する状態になっていないかをご確認ください。

お問い合わせ先

お問い合わせ先

■製品に関するご相談は、次のWebフォームよりお問い合わせください。

- ご購入後の機能・操作に関するお問い合わせ
<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-06-21/ffyl?>
- ご購入に関するお問い合わせ
<https://go.motex.co.jp/l/320351/2017-11-27/7d5pg?>

■よくあるご質問(FAQ)については下記のURLをご参照ください。

https://faq.motex.co.jp/?site_domain=an

MOTEX

www.motex.co.jp